

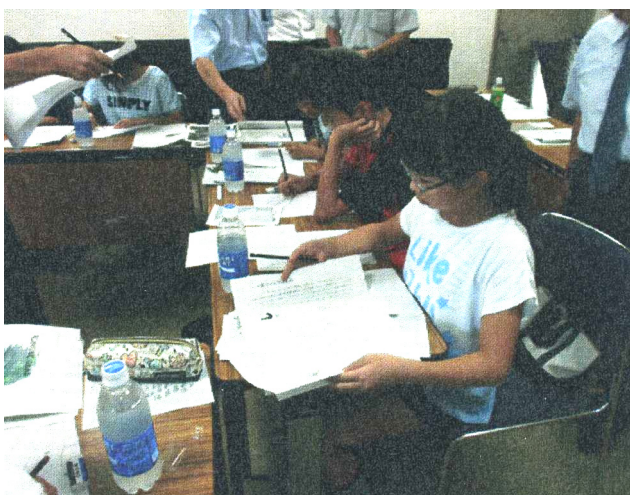
活動名 届けよう子どもたちに 甲田の民話「とんかちり」	団体名	甲田町地域振興連合会
	地域	広島県安芸高田市
	代表者	会長 寺地 保
	支援金額	30万円
活動概要		
<p>地域を愛し、語る子どもたちを育てるためには郷土理解が必要不可欠である。そのために、わたしたちの地域に伝わる民話や昔話を絵本・資料集として作成し、ふるさとを愛する心を育てるとともに、次世代へと文化の保存・継承をしていくことを目的として活動する。</p> <p>甲田の伝説絵本作成委員会：月1回(必要に応じ月2回実施)安芸高田市甲田支所会議室で実施。</p> <p>現地視察：4月大土山現地視察 ：2月絵本解説のための井堰神社等現地視察</p> <p>小カット・イラスト作成：8月に地元の小中学生20名に集まってもらい作成</p> <p>完成記念発表会：3月22日に絵本の朗読を実施。地元小中学生7名発表</p> <p>◆実施時期 平成26年4月～平成27年3月25日 安芸高田市甲田支所</p> <p>◆参加人数 甲田の伝説絵本作成委員会 11名 小カット・イラスト作成の会 20名 完成記念朗読発表会 小中学生7名朗読 参加者200人</p> <p style="text-align: right;">参加総人員:231名</p>		



伝統絵本作成実行委員会 会議



現地視察



小カット・イラスト作成の会



3月、完成記念朗読発表会

◆実施に伴う効果

今から安芸高田市の小中学校・図書館・関係機関等への配布を行う。地域理解が進むとともに同様の取り組みが他地域でも進むと思われる。
発刊の新聞記事で、ぜひ読みたいとの問い合わせあり。

◆苦労した点

- ・今回の活動を広げ周知するためには、出版部数の増等の予算面の確保に苦労した。
- ・委員の選定や依頼まで半年をかけたが、人材確保に苦労した。
- ・絵本の挿絵を町内の人材で行おうと計画し何とか形になったが、作者の思いと製作者の共通理解に手間取った。
- ・いろいろな年代層に参加してもらうため地元の小中学校にお願いしながら参加してもらった。参加に至るまでの調整に苦慮した。

◆今後の課題・発展の方向性

- ・公共機関や関係団体へ配布後の希望者への対応、増刷。
- ・小中学校には、地域学習として活用していただく。また、絵本の1冊(民話)は英語文も併記している。英語学習にも活用してもらいたい。

◆活動を終えての感想・意見等

- ・一字一句の言葉の校正、掲載するための資料集めや考察、1枚の絵が出来るまでの苦労など、すべてのことに時間と労力が必要だった。